

# 令和元年度 事業実績報告

自 平成31年4月1日～至 令和2年3月31日

久木田学園看護専門学校

事業日程				事業内容	
年	月	日	曜		
平成 31年	4	1	月	新任教員オリエンテーション(2日まで)	
		5	金	始業式(2年、3年)	
		8	月	入学式	
		9	火	1年生オリエンテーション(10日まで)	
		26	金	校外研修(1年生)	
令和 元年	5	16	木	看護の日(県民交流センター)	
		17	水	学生健康診断	
		31	金	歓迎レクレーション(郡山体育館)	
	6	2	日	学校説明会	
		5	水	職員健康診断	
		14	金	防火訓練	
		16	日	自己推薦入試(6月募集) 受験生がいなかったため中止	
		30	日	学校説明会	
	7	14	日	自己推薦入試(7月募集)	
		27	土	夏季休暇(1年生及び2年生、9月2日まで) 夏季休暇(3年生は実習により調整する)	
	8	4	日	学校説明会	
		25	日	自己推薦入試(8月募集)	
	9	1	日	学校説明会	
		15	日	自己推薦入試(9月募集)	
	10	5	土	指定校推薦入試、推薦入試 社会人入試(10月募集)	
		26	土	学園祭	
	11	9	土	一般入試(11月募集)	
		28	木	戴帽式	
	12	14	土	一般入試(12月募集)、社会人入試(12月募集)	
		20	金	交通安全教室	
		23	月	冬季休暇(1月5日まで)	
	令和 2年	1	25	土	一般入試(1月募集)、社会人入試(1月募集)
		2	15	土	一般入試(2月募集)、社会人入試(2月募集)
16			日	看護師国家試験(福岡)	
3		6	金	卒業式	
		17	火	終業式(1・2年生)	
		18	水	春季休暇(1年生4月3日まで、2年生4月8日まで)	
		18	水	高麗町校舎への移転(19日まで)	
	21	土	社会人入試(3月募集)		

# 令和元年度 事業実績報告

(自平成31年4月1日～至令和2分年3月31日)

## ■ 久木田学園看護専門学校

### 1 鹿児島県等の看護教育に対する指導等と学校の取組み

#### (1) 授業について

すべての事業計画（講義・実習）は、カリキュラムに沿って全学年計画どおりに実施することができた。

#### (2) 専任教員について

鹿児島県から、専任教員の専門分野の経験値・知識を補う研修の必要性を指導されたため、3名の専任教員について、年間研修計画に専門分野の研修及び看護教員に必要な知識の習得を目的とした研修を追加し、研修を受講することで学生指導に役だててもらった。

その他の教員についても、学会参加等の研修計画を立て、看護教育への新しい取り組み、カリキュラム改正の方向性などの研修内容を教務会議で報告してもらい、情報の共有を図った。

#### (3) 校舎の整備について

校舎移転に伴う実習棟の整備については、病院での様々な治療や看護を体験できるシミュレーション室、在宅看護を体験できる在宅看護室を整備するなど、より実践的な施設とするとともに今後のカリキュラムの改正にも十分対応できる施設とした。

また、本館及び実習棟のWifi環境を整備し、今後の看護教育の方向性（ICTの活用）に向けた準備を行った。

#### (4) 校舎移転に伴う新規の実習施設の開拓

校舎が高麗町に移転することに伴い、学生の臨地実習の利便性を図るため、新たな実習施設を開拓した。

- ①小児看護学Ⅰ実習      保育園 1 施設（きずな保育園）
- ②老年看護学Ⅰ実習      老人福祉施設 1 施設（介護老人福祉施設陽光苑）
- ③在宅看護論実習      通所リハビリ施設 1 施設（鹿児島徳洲会病院通所リハビリ）

#### (4) その他

学校保健マニュアル、学校安全マニュアルを整理した。特に、学校保健マニュアルについては、感染予防対策等が必要な主な感染症であるインフルエンザ、感染性胃腸炎、新型コロナウイルスなど感染症別にマニュアルを整備した。

## 2 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組み

2月頃から新型コロナウイルス感染症拡大が鹿児島県においても問題となったため、2月28日に本校の感染対策マニュアルを作成し、学生に周知を図るとともに実習病院へ資料の配付を行った。

また、厚生労働省や鹿児島県からの情報提供があった場合、情報の内容を分析検討し、状況に応じて感染拡大防止マニュアルを修正し、その都度、学生への指導の強化を図った。

令和元年度の卒業式については、新型コロナウイルス感染症が感染拡大したため、急遽、これまでの鹿児島サンロイヤルホテルから本名町校舎3階ホールに会場を変更し、卒業生と保護者だけの出席による簡素化された式となった。また、学生主催による謝恩会も中止となったが、学生にとってはいろいろな意味で忘れ得ぬ卒業式と

なった。

### 3 看護師国家試験対策の実施

看護師国家試験に向けて、早い時期から過去問題を配付するとともに、学習指導についても学年担当教員が中心となって行った。国家試験が近づいてきた後半の強化対策では、学生の希望に合わせて科目別強化対策を行った。

この他、業者模試の結果は教員間で回覧し、試験結果については全教員で共有化を図った。また、個別強化指導を要する学生に対する指導や面接については、他の教員も関わりながら、学生の学習への取り組みを見守った。

(参考) 看護師国家試験合格率

令和元年度合格率 89.4% (全国平均 94.7%)

平成 30 年度合格率 78.5% (全国平均 94.7%)

### 4 就職対策

令和元年度の就職状況は、例年どおり鹿児島県内志向が続いており、県内就職者が約 8 割、県外就職約 2 割となり、進学者は 1 名であった。

また、県内及び県外就職者のほとんどが病院奨学金を受けており、奨学金交付先の病院に就職している。

### 5 学生募集活動の推進

- (1) 九州管内の高等学校すべてに募集要項を送付するとともに、指定校推薦入試による受験の案内を行った。

- (2) 鹿児島県内を、鹿児島市内、北薩方面、南薩方面、大隅方面、始良・伊佐方面)の5地域に分け、6月から7月にかけて各高等学校進路指導部の先生のところに出向いて、オープンキャンパスへの参加、看護学校受験者への本校の紹介をお願いするとともに、自己推薦入試については、看護師を志望し、早期に進路を決定した生徒に対しては、有利な試験であることをアピールした。
- (3) 高校生向け進学ガイダンスに3回(鹿児島アリーナ、ジェイドガーデンパレス、鹿児島県立鹿屋高等学校)出席し、進路相談及び募集要項等の説明を行った。
- (4) 令和2年4月から高麗町に移転するため、オープンキャンパス、入学試験はすべて、鹿児島鍼灸専門学校で実施した。このことにより、受験生が新校舎の位置や利便性を確認するのに効果があった。

## 6 ボランティア活動の推進

久木田学園レオクラブを中心とし、各学年の学生も積極的に老人福祉施設やその他の施設での行事に参加した。

この他、学生の健康診断にあわせて献血車が来校し、多くの学生が献血に協力した。